

# 南桂子展 花かごを抱えて

2017.3.4 sat - 5.7 sun

## ごあいさつ

夢と現のあいだを、はだしで散歩するような、あたたかな孤独に包まれて、南桂子（1911-2004）の作品は今もここにあり続けています。

のちに20世紀を代表する銅版画家となる浜口陽三との出会いをきっかけに、戦後のパリで銅版画家の道を一途に歩んだ南桂子。

作品の世界は、遠くをみつめるまなざしでつくられたその日から、今日とは別の時間軸に存在し、いつまでもいつまでも変わることはありません。

眼に映る色をもう一度つくりなおしたような新鮮さと、心に寄り添うなつかしい時間を、春のひとときはどうぞお楽しみください。南桂子の銅版画約50点と浜口陽三の銅版画約20点を展示します。

## 南桂子について

1911年、富山県射水郡（現高岡市）生まれ。

幼少期から絵や文学の創作にいそしむ。

戦後、朱葉会や自由美術協会に油彩画を発表。

これと並行して童話作家をめざし紙面に発表。

のちに銅版画家として国際的に活躍することになる

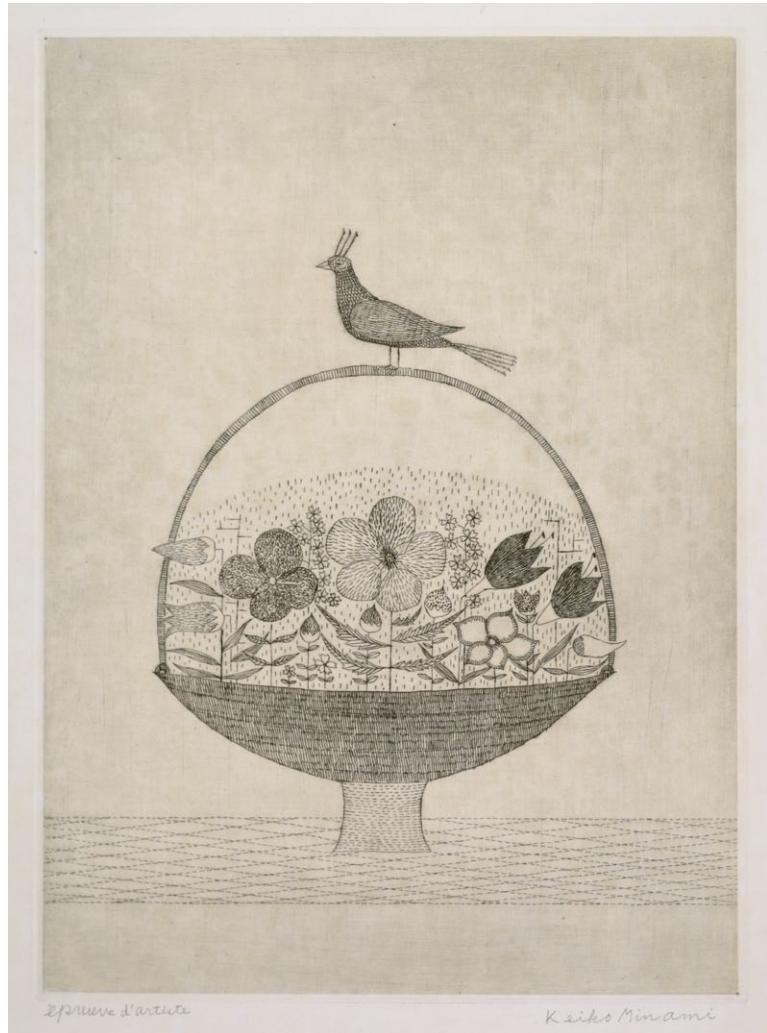
画家・浜口陽三（1909-2000）と知り合い、銅版画に興味を持つ。

1954年、渡仏。本格的に銅版画を学びはじめる。

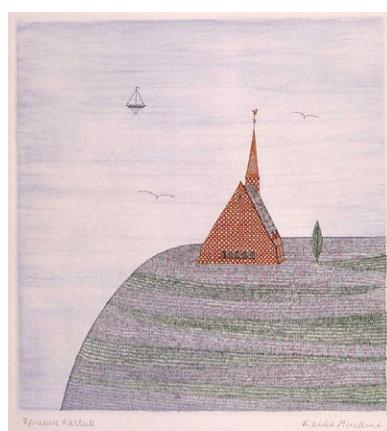
数年のうちに、作品がフランス文部省に買い上げられるなど、高い評価を得る。

現地でも有数の画廊と専属契約を結ぶ。作品はユニセフのカードやカレンダーにも採用され、より広く世界中の人々に受け入れられた。

1981年にサンフランシスコに移住し1996年に帰国。2004年逝去。



[1] 「花の籠」 1955年 銅版画、紙 39.0×28.2cm

[2] 「花と蝶」 1963年  
銅版画、紙 34.6×28.8cm[3] 「ノルマンディの教会」 1969年  
銅版画、紙 30.6×28.8cm

## 展覧会概要

日時 | 2017年3月4日(土)～5月7日(日)  
 会場 | ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション  
 入館料 | 大人600円 大学生・高校生400円 中学生以下無料  
 休館日 | 1月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)  
 開館時間 | 11:00～17:00(最終入館16:30、土日祝は10:00開館)  
 《ナイトミュージアム／会期中第1・3金曜  
 \*20:00まで開館(最終入館19:30)》  
 \*第1・3金曜…3/17、4/7、4/21、5/5 の4日間  
 \*4/22(土)はワークショップ開催のため1階展示室が鑑賞しにくくなります。  
 \*休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

## 美術館概要

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション  
 住所 | 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-7  
 TEL | 03-3665-0251 FAX | 03-3665-0257  
 E-mail | musee@yamasa.com  
 HP | <http://www.yamasa.com/musee/>  
 アクセス | 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば  
 東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分  
 首都高速箱崎I.C[浜町出口]  
 または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前



[4] 「木の中の青い鳥」 1969年  
銅版画、紙 37.4×28.9cm



[5] 「少女と塔」 1972年  
銅版画、紙 35.3×28.8cm

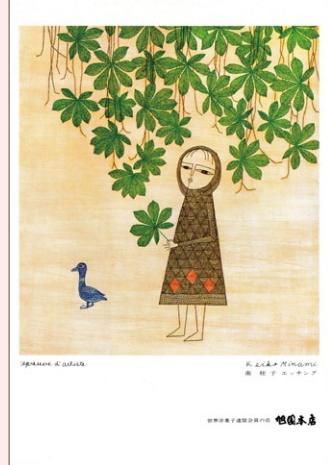
## トピック — お菓子と包み紙の物語 —

### Topic 1: 南桂子の絵が包み紙に

静岡・沼津の老舗菓子店「旭園本店」(創業 1901 年)が 1970 年代から 2000 年まで南桂子の絵を包み紙や掛け紙に使用していたエピソードを紹介します。“お菓子と絵で心を豊かに”と願った店主の熱意や南との交流など、当時のお話と共に、実際に使用していた掛け紙を 3 点展示します。

### Topic 2: 洋画家二人が手掛けた包み紙

人々に愛され続けるお菓子と絵。洋画家・東郷青児の絵を包み紙に使用する「自由が丘モンブラン」(1933年創業)と、洋画家・鈴木信太郎の絵を使用する「マッターホーン」(1952年創業)にそれぞれ包み紙にまつわるお話をインタビューしました。実際の包み紙と共に紹介します。



「旭園本店」でケーキ箱の上にのせて使用されていた掛け紙。夏用の「マロニエと少女」



「自由が丘モンブラン」の包み紙(部分)  
画:東郷青児(1897-1978)・洋画家



「マッターホーン」の包み紙(部分)  
画:鈴木信太郎(1895-1989)・洋画家

## 関連イベント Workshop 「線と光のゆらめくグラス」

グラスに彩色されたエナメルを彫って模様を描きます。かりかりと描く手作業による線は南桂子の銅版画にも通じるあじわいです。土台となるグラスは講師の戸田晶子さんに制作いただぐオリジナルです。グラスは後日「焼き付け」して発送します。

講師：戸田晶子（ガラス作家）

日時：4月22日（土）

第一回 10:00～12:00 第二回 14:00～16:00

定員：各回10名 対象：小学生から大人まで

参加費：3200円（入館料、材料費含む）、

グラスの着払送料が別途かかります

持ち物：エプロン



※イメージ画像  
※お1人につきグラスは1つです

イベント申込み方法：3月22日（水）11:00より電話にて申込受付（先着順）

※お申し込み後直前のキャンセルはご遠慮ください。

※休館日や開館時間外はお電話が通じませんのでご了承ください。

## プレスリリースご担当者様へ

ぜひ展覧会にお越し下さい。あわせてご取材頂けますと幸いです。作品画像をご希望の際は、作品下の番号をお申し付けください。お問い合わせは広報担当の新田・阿部までよろしくお願いします。



掲載情報について、  
詳細は当館HPまたは  
お電話、メールにてご確認下さい。